

(2015年度)

3 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は22ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は，解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

平安時代中頃からの文化については、いわゆる「国風文化」と称される、阿弥陀信仰を背景としたわが国独特の文化が形成され、時代の変化に伴い徐々に変質してゆくことが知られている。

次代の文化と国風文化との違いが、顕著になり始めるのは、11世紀末からの院政期からと言うことができる。それは、教科書などでも「院政期の文化」という名称で用語としても定着してくるようになった。しかるに、その本質は、前代の国風文化の主体であった平安貴族に代表される文化(藤原文化と称されることもある)が、院政期に台頭してきた武士や庶民層、その背景となった地方文化を取り入れる形で変質し、文化の新しい局面を見せてきたことに他ならない。

問1 国風文化と院政期の文化について、以下のA、Bの各問いに答えなさい。

A) 国風文化に関して記した短文①～⑥について、歴史的に正しいものをそれぞれ2件選びなさい。2件以外の数を選んだ場合は、不正解とする。

(1)

- ① 文化背景の一つに「末法思想」があげられる。
- ② 『文鏡秘府論』は、この時期の評論集である。
- ③ 勸学院が創設されたのは、この頃である。
- ④ 『水鏡』は、この時期の著作である。
- ⑤ 庶民啓蒙の目的で『地獄草紙』が描かれた。
- ⑥ 中国の王羲之の書法を消化した和様書道が主流となった。

(2)

- ① 平易な文学も広まり、『今昔物語集』が著された。
- ② 『塵劫記』は、この時期の著作である。
- ③ 『梨本集』は、この時期の和歌集である。
- ④ 国史への関心も高まり、『公事根源』が著された。
- ⑤ 『醍醐寺五重塔』は、この時期の建築である。
- ⑥ 『倭名類聚抄』が編まれた。

(3)

- ① 歌物語の『大和物語』が著された。
- ② 仏教説話集の『日本霊異記』が著された。
- ③ 歴史への関心から『類聚国史』が編まれた。
- ④ 『秋萩帖』は、この時期の代表的な書である。
- ⑤ 著名な仏像彫刻家として、康勝があげられる。
- ⑥ 『六波羅蜜寺空也上人像』は、この時期の作品である。

(4)

- ① 貴族の趣向を反映した絵巻物がさかんに作られた。
- ② 『高野山聖衆来迎図』は、この時期の作品である。
- ③ 『白氏詩巻』は、この時期の書で藤原行成の筆による。
- ④ この時期の詩集として『経国集』があげられる。
- ⑤ 『西大寺十二天像』は、この時期の絵画である。
- ⑥ 『法華寺十一面観音像』は、この時期の仏像彫刻である。

(5)

- ① 『土佐日記』は、この時期に仮名文字で書かれた。
- ② 『古今和歌集』は、この時期に編まれており、「八代集」の最初のものである。
- ③ 『伊勢物語』は、この時期の歌物語で、ストーリーには西洋の御伽話・シンデレラとの親近性が指摘されている。
- ④ 当時の日記文学の一つ、『蜻蛉日記』は女性の手により書かれ、作者は菅原孝標女と考えられている。
- ⑤ 45帖から成る長編小説『源氏物語』は、この頃に著され作者は紫式部である。
- ⑥ 当時の歌人、「六歌仙」のうち女性は二人だけである。

B) 院政期の文化に関する短文①～⑥について、歴史的に正しいものをそれぞれ2件選びなさい。2件以外の数を選んだ場合は、不正解とする。

(1)

- ① 前代よりの阿弥陀堂建築や浄土教関連の美術作品が主流である。
- ② 教訓的説話集の『十訓抄』が著されたが、作者は未詳である。
- ③ 蓮華王院本堂(三十三間堂)は、この時期の建築である。
- ④ 石山寺多宝塔は、この時期の建築である。
- ⑤ 石山寺多宝塔は、京都府に建立されている。
- ⑥ 『年中行事絵巻』の原本は、この時期に制作されたと考えられる。

(2)

- ① いわゆる「鏡物」の歴史書が多く著され、『増鏡』は、この時期の代表作である。
- ② 『鳥獣戯画』は、この時期の制作が考えられる。
- ③ 『扇面古写経』は、この時期の装飾経として代表的なものである。
- ④ 貴族の邸宅として「寝殿造」が確立した。
- ⑤ 貴族の日常の行動について、「物忌」や「方違」など陰陽道が強い影響を与え、この時期では安倍晴明らの活動が知られる。
- ⑥ この時期、神仏習合がさかんとなり、垂加神道が提唱された。

(3)

- ① 歴史への関心が深まり、『古史通』が著された。
- ② この時期を代表する仏師として、定朝の名がよく知られている。
- ③ 『大鏡』や『今鏡』は、この時期に著された。
- ④ いわゆる「三跡(蹟)」は、この時期の書家である。
- ⑤ 地方の阿弥陀堂の代表格、『白水阿弥陀堂』が、福島県に建立された。
- ⑥ 『正福寺千体地藏堂』は、この時期の建立が考えられる。

(4)

- ① いわゆる「三筆」は、この時期の書家である。
- ② この時期の宗教論著作として『十住心論』があげられる。
- ③ この時期の代表的な歌集として『文華秀麗集』が編まれた。
- ④ 三仏寺投入堂は、この時期の建築で鳥取県にある。
- ⑤ 「今様」が流行し、貴族も愛好した。
- ⑥ 『平家物語』の成立は、この時期と考えられる。

(5)

- ① 中尊寺金色堂は、この時期の建立と考えられ、青森県にある。
- ② 『源氏物語絵巻』はこの時期の制作が考えられる。
- ③ 『伴大納言絵巻』の制作はこの時期にあたり、作者は土佐光信である。
- ④ この時期、地方の阿弥陀堂建築の好例として、『富貴寺大堂』があげられる。
- ⑤ 代表的な歴史書として『百練抄』が、編年体で書かれた。
- ⑥ 歌謡集『梁塵秘抄』が編まれた。編者は白河上皇とされる。

問2 問1の設問中にある語句に関する以下の問いに答えなさい。

1) A-(1)-①に関して

当時は、永承7年から「末法」に入ると考えられていたが、それは西暦何年か。1つ選びなさい。

- ① 1051年 ② 1052年 ③ 1053年 ④ 1054年
- ⑤ 1055年 ⑥ 1056年

2) A-(2)-⑥に関して

『倭名類聚抄』の作者は誰か。1人選びなさい。

- ① 源信 ② 源隆国 ③ 源為国 ④ 源融 ⑤ 源通親
- ⑥ 源順

3) B-(1)-③に関して

蓮華王院本堂の建築様式は何か。1つ選びなさい。

- ① 和様 ② 大仏様 ③ 禅宗様 ④ 折衷様 ⑤ 京様
- ⑥ 宋様

4) B-(3)-⑥ に関して

正福寺千体地藏堂はどこにあるか。1つ選びなさい。

- ① 東京都 ② 神奈川県 ③ 京都府 ④ 大阪府
⑤ 兵庫県 ⑥ 香川県

5) B-(5)-③ に関して

『伴大納言絵巻』の主題となる歴史上の事件は、西暦何年に起こったか。

1つ選びなさい。

- ① 764年 ② 810年 ③ 842年 ④ 866年 ⑤ 888年
⑥ 969年

2 次の史料Ⅰ～Ⅳを読み、あとの問いに答えなさい。

〔史料Ⅰ〕『中右記』大治4年7月7日条

禪定法王は、後三条院崩後、天下の政をとること五十七年(在位十四年、位を避
(a)るの後四十三年)、意に任せ、法に拘らず、除目・叙位を行ひ給ふ。古今未だあ
(b)らず。……威四海に満ち天下帰服す、幼主三代の政をとり、齋王六人の親とな
(c)る、桓武より以来、絶えて例なし。聖明の君、長久の主と謂ふべきなり。但し理
非決断、賞罰分明、愛悪掲焉にして、貧富は顯然なり。男女の殊寵多きにより、
(d)已に天下の品秩破るゝなり。

〔史料Ⅱ〕

A 一 諸国守護人奉行の事

右、右大將家の御時定め置かるる所は、大番催促・謀叛・殺害人(付たり
(e)夜討・強盗・山賊・海賊)等の事なり。……

一 諸国地頭、年貢所当を抑留せしむる事

右、年貢を抑留するの由、本所の訴訟有らば、即ち結解を遂げ勘定を請く
べし。……

一 (ア)を帯ぶると雖も知行せしめず、年序を経る所領の事

右、当知行の後、廿ヶ年を過ぐれば、右大将家の例に任せて理非を論ぜず改替に能はず。……^(e)

B 一 質券売買地の事

右、所領を以て或いは質券に入れ流し、或いは売買せしむるの条、(イ)等侘僚の基なり。向後に於いては、停止に従ふべし。以前沽却の分に至りては、本主領掌せしむべし。但し、或いは(ア)・下知状を成し給ひ、或いは知行廿箇年を過ぐるは、公私の領を論ぜず、今更相違有るべからず。……

次に非(イ)・凡下の輩の質券買得地の事。年紀を過ぐると雖も、売主知行せしむべし。

[史料Ⅲ]『梅松論』

去程に、京都には君伯耆より還幸なりしかば、御迎へに参られける卿相雲客、^(f)行粧花をなせり。今度忠功を致しける(ウ)・長年以下供奉の武士その数を知らず。宝祚は二条の内裏なり。保元・平治・治承より以来、武家の沙汰として政務を恣にせしかども、元弘三年の今は天下一統に成しこそ珍しけれ。君^(f)の御聖断は延喜・天曆の昔に立帰りて、武家安寧に民屋謳歌し、いつしか諸国に(エ)を定め、卿相雲客各々其の階位に登りし体、実に目出度かりし善政なり。……古の興廢を改めて、「今の例は昔の新儀也。朕が新儀は未来の先例たるべし」とて、新なる勅裁^{ようよう}漸々聞えけり。……爰に、京都の聖断を聞き奉るに、(オ)を置かるといへども、近臣臨時に内奏を経て非義を申行間、論言朝に変じ暮に改りし程に、諸人の浮沈、掌を返すが如し。或は先代滅亡の時に遁れ来る輩、又(カ)の一族に被官の外は、寛宥の儀を以て死罪の科を宥めらる。又、天下一同の法を以て安堵の論旨を下さるといへ共、所帯を召さるゝ輩、恨みを含む時分、公家に口ずさみあり、「尊氏なし」といふ詞を好み使ひける。……武家して又公家に恨みを含み奉る輩は、頼朝卿のごとく天下を専らにせむ事をいそがしく思へり。故に公家と武家水火の障にて元弘三年も暮れにけり。

〔史料Ⅳ〕『大乘院寺社雑事記』

A 文明17年12月11日条

今日山城国人集会す(上は六十歳，下は十五六歳と云々)。同じく一国中の土民等群集す。今度両陣の時宜を申し定めんが為の故と云々。然るべきか。但し又下極上のいたりなり。

B 同年12月17日条

……両陣の武家衆各引き退き了^{おわ}んぬ。山城一国中の国人等申し合はず故なり。
……本所領共は各本の如くたるべし。新関等一切これを立つべからずと云々。
珍重の事なり。

問1 史料Ⅰの(a)「禅定法王」とは誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 宇多上皇 ② 白河上皇 ③ 鳥羽上皇 ④ 後白河上皇

問2 史料Ⅰの(b)「後三条院」が侍講として重用したのは誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 菅原道真 ② 源高明 ③ 藤原公任 ④ 大江匡房

問3 史料Ⅰの(c)「幼主三代」に含まれないのは誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 堀河天皇 ② 鳥羽天皇 ③ 崇徳天皇 ④ 後白河天皇

問4 史料Ⅰの(d)「男女の殊寵」は、院の近臣のことである。「禅定法王」の北面の武士となり、史料Ⅰが記された頃から「禅定法王」について院政を行った上皇の近臣として重く用いられるようになった武士は誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 平貞盛 ② 平時忠 ③ 平正衡 ④ 平維盛 ⑤ 平忠盛

問5 史料Ⅱの(e)「右大将家」が、右近衛大将に任ぜられたのは、西暦何年のことだったか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 1183年 ② 1185年 ③ 1189年 ④ 1190年 ⑤ 1192年

問6 史料Ⅱの空欄(ア)・(イ)に入る語句を、それぞれ1つずつ選びなさい。

- ① 御内人 ② 御奉書 ③ 御院宣 ④ 御下文 ⑤ 安堵
⑥ 連署 ⑦ 裁許状 ⑧ 朱印状 ⑨ 奉公衆 ⑩ 御家人

問7 A・Bあわせて史料Ⅱに史料名をつけるとすれば、どのような名称がふさわしいか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 鎌倉幕府法 ② 公家本所法 ③ 守護領国法
④ 寺社本所法 ⑤ 荘園公領法

問8 史料ⅡのA・Bそれぞれが制定された時の執権は誰か。次の中から1人ずつ選びなさい。

- ① 北条時頼 ② 北条時宗 ③ 北条貞時 ④ 北条義時
⑤ 北条泰時 ⑥ 北条時政

問9 史料Ⅲの(f)「君」・(i)「朕」は同一人物であるが、それは誰か。次の中から1人を選びなさい。

- ① 後嵯峨天皇 ② 花園天皇 ③ 後醍醐天皇
④ 光厳天皇 ⑤ 光明天皇

問10 史料Ⅲの空欄(ウ)には河内国に本拠をもっていた武士の名が入る。それは誰か。次の中から1人を選びなさい。

- ① 季長 ② 信義 ③ 秀義 ④ 高氏 ⑤ 正成

問11 史料Ⅲの(g)「保元・平治」の乱について、次の問いに答えなさい。いずれも、下の語群から1人ずつ選ぶこと。

- (1) 保元の乱で天皇方となった関白は誰か。
- (2) 保元の乱で天皇方となった源氏は誰か。
- (3) 保元の乱で上皇方となった左大臣は誰か。
- (4) 武士を動員して信西を自死に追いやり、平治の乱をおこした院の近臣は誰か。
- (5) 平氏の棟梁の嫡男として保元・平治の乱に従軍し、従二位内大臣まで昇進したものの、父親よりも先に早世してしまったのは誰か。

〔語群〕

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 藤原忠通 | ② 藤原信頼 | ③ 藤原通憲 | ④ 藤原頼長 |
| ⑤ 藤原忠実 | ⑥ 源義親 | ⑦ 源頼朝 | ⑧ 源義朝 |
| ⑨ 源為朝 | ⑩ 源為義 | ⑪ 平忠盛 | ⑫ 平忠正 |
| ⑬ 平頼盛 | ⑭ 平清盛 | ⑮ 平重盛 | |

問12 次のうち、史料Ⅲの(h)「治承」年間の出来事ではないものを1つ選びなさい。

- ① 源頼朝は、奥州藤原氏を滅ぼすと、念願の上洛を実現した。
- ② 平清盛は、孫を即位させ(安徳天皇)、政権の中樞を掌握した。
- ③ 法皇の皇子以仁王と畿内に基盤をもつ源氏が挙兵したものの敗れた。
- ④ 源頼朝は、伊豆で挙兵したが、石橋山の戦いで大敗し、安房に逃れた。
- ⑤ 平清盛は、法皇を幽閉し、関白以下多数の貴族の官職を奪って処罰した。

問13 史料Ⅲの空欄(エ)・(オ)に入る適切な語句を、次の中からそれぞれ1つずつ選びなさい。

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| ① 評定衆・引付衆 | ② 記録所・決断所 | ③ 守護・地頭 |
| ④ 執権・連署 | ⑤ 国司・守護 | ⑥ 摂政・関白 |
| ⑦ 券契所・記録所 | ⑧ 守護・守護代 | ⑨ 政所・侍所 |

問14 史料Ⅲの(j)「先代」は、空欄(カ)に入る人物に代表される、前政権のことである。空欄(カ)に入る適切な人名を1つ選びなさい。

- ① 清盛 ② 頼朝 ③ 義時 ④ 高時 ⑤ 高氏

問15 史料Ⅳの(k)「兩陣」の説明として適切なものを、次の中から1つ選びなさい。

- ① 洛外各所で戦っている細川勝元・山名持豊の兩軍。
② 洛中で戦っている足利義尚・日野富子と足利義視の兩軍。
③ 山城国全域で戦っている細川方(西軍)・山名方(東軍)の兩軍。
④ 大和国で戦っている斯波義廉・同義敏の兩軍
⑤ 南山城で戦っている畠山政長・同義就の兩軍。

問16 史料Ⅳの(l)「国人」の説明として適切なものを、次の中から1つ選びなさい。

- ① 大犯三カ条だけでなく、幕府の命令を執行する権限を認められ、国衙機能も吸収した守護大名。
② 村で代々暮らしてきた百姓。惣村の自治的な運営には参加できなかったが、村の枠を超えて連帯することもあった。
③ その国を代表する商人で、荘園領主の許可を得ず、独自に新関を設置することを主な目的として一揆を結んでいた。
④ 荘官・地頭などとして住み着いて成長した在地の有力武士。守護の動員に応じることもあった。

問17 山城の国人たちは、史料Ⅳのあと、南山城を自治的に支配した。その期間は何年間に及んだか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 約8年 ② 約18年 ③ 約38年 ④ 約58年 ⑤ 約88年

問18 下の史料はいつ書かれたものか。その時期を次の中から1つ選びなさい。

- ① 史料Ⅰの前 ② 史料Ⅰと史料ⅡAの間
③ 史料ⅡAと史料ⅡBの間 ④ 史料ⅡBと史料Ⅲの間
⑤ 史料Ⅲと史料Ⅳの間

〔史料〕

阿テ河ノ上村百姓ラツ、シテ言上

一 ランサイモクノコト、アルイワチトウノキヤウシヤウ、アルイワチカフトマウシ、カクノコトクノ人フヲ、チトウノカタエセメツカワレ候ヘハ、ヲマヒマ候ワス候。ソノ、コリ、ワツカニモレノコリテ候人フヲ、サイモクノヤマイタシエ、イテタテ候エハ、テウマウノアトノムキマケト候テ、ライモトシ候イヌ。ヲレラカコノムキマカヌモノナラハ、メコトモヲライコメ、ミ、ヲキリ、ハナヲソキ、カミヲキリテ、アマニナシテ、ナワホタシヲウチテ、サエナマント候ウテ、セメセンカウセラレ候……

3 次の短文A～Lは、それぞれ江戸時代の幕府政治に関わった人物についての説明である。よく読んで、以下の問いに答えなさい。

A 宇都宮藩主^(a)。家康の信任が厚く、秀忠の執政となる。とくに外交^(b)や貿易の面で絶大な権限を振るう。1614年の大坂冬の陣の講和の後、豊臣氏^(c)をあざむいて大坂城の内堀をうめさせた。反対派の策動で1621年に改易され、出羽国横手へ流罪となった。^(d)

B 1604年、家康^(a)の近侍となり、のちに老中となった。島原の乱鎮圧の功で川越藩主^(b)となる。由井正雪らの反乱未遂事件とされる慶安事件^(c)、江戸城の天守にも延焼した明暦^(d)の大火後の処理などにも功があった。伊豆守であったことから、「知恵伊豆」と称された。

C 綱吉^(a)の将軍擁立に功があった人物。1681年、下総古河藩主^(b)となって備中守から筑前守にあらため老中^(c)へ昇った。性格が剛直で反感を受けることが多く、江戸城殿中^(d)で若年寄稲葉正休に刺殺された。

- D 父安忠は、綱吉が館林藩主であった時代から将軍に仕え、本人も将軍の小姓から側用人となり、^(a)1705年、甲府15万石を領した。^(b)古文辞学を提唱した荻生徂徠や、『国字国訓弁』の著者細井広沢らの学者を重用するなど、元禄期の幕政を指導し、^(c)文治政治を推進した。^(d)
- E 享保の改革後半期の勘定奉行である。老中松平乗邑のもとで年貢増徴策を推進した。^(a)1742年の関東洪水の際には河川復工事を主管した。1744年、東海道・五畿内・中国筋で検地を実施、徹底した増徴を行った。^(b)「菜種の油と百姓は絞れば絞るほどでるものなり」と放言したという。^(c)^(d)
- F 将軍家重の小姓・側用人から出世し、一時代を築いた老中。^(a)間宮林蔵の著書に刺激された蝦夷地開発計画や、^(b)印旛沼などで大規模な新田開発工事を行うなど斬新な経済政策を推進し、商業資本と結んで積極的に産業振興策をとったが、賄賂政治で不評を買い、将軍の死とともに^(c)1786年、失脚した。^(d)
- G 吉宗の子田安宗武の七男。白河藩松平家の養子となる。将軍家斉の時、老中首座となり、1788年から将軍補佐を兼務。藩校^(a)立教館の充実など、藩政の実績により幕政を担当し、^(b)寛政の改革を行う。この人物の伝記としては、^(c)五代友厚が著した『楽翁公伝』が有名である。^(d)
- H 浜松藩主。大坂城代・^(a)長崎奉行を経て老中となり、1839年、老中首座となり、その後、^(b)天保の改革を実施。厳しい統制政策をとったが、^(c)上知令の失敗により失脚。後に、老中に復して外交に当たったが、昔日の面影はなかった。^(d)
- I 薩摩藩主。早くから阿部正弘など幕閣らと政治・国際情報を交換していた。^(a)1851年、家督を相続した。^(b)蘭学に造詣が深く、殖産興業を推進し、城内に精錬所を、磯御殿には反射炉や溶鋳炉などをもった近代的工場である^(c)集成館を設置した。幕政改革派を伴い、幕府政治にも関与。将軍継嗣問題では徳川慶福(家茂)を推した。^(d)
- J 備後福山藩主。1843年、25歳の若さで老中に抜擢された。1845年、老中首座となる。^(a)1853年、ペリー来航時には合衆国大統領親書を受け取り、以後、幕政の責任者として外交方針を指示。翌年、^(b)日米修好通商条約を締結して開国に導いた。幕府独裁を改めて公武協調を図り、^(c)安政の改革を実施した。国防強化を中心に講武所の設立や洋式訓練の採用、^(d)長崎海軍伝習所の設立などを行った。

- K 彦根藩主。大老に就任後、勅許を得ず合衆国との間の条約を締結した。1858年、その専制に反対する親藩・外様大名・志士ら100余名を処断する「安政の大獄」と呼ばれる政治弾圧を行った。刑死者のなかには吉田松陰や橋本左内が含まれている。將軍継嗣問題では徳川慶福を推挙した。1860年、「安政の大獄」に憤激した開国派の水戸・薩摩の浪士らに桜田門外で暗殺された。
- L 水戸藩主。人材を登用し、天保期に藩政改革を断行した。老中安藤信正や宇和島藩主伊達宗城らと書簡を交わし、ペリー来航の後、幕府海防参与となり、大船建造や軍制改革などの幕政に参画した。尊王攘夷論を主張し、將軍継嗣問題では一橋派として活動した。安政の大獄により蟄居となった。

問1 上記の短文A～Lにふされた下線部(a)～(d)には、それぞれ誤りの部分が1つある。その誤りの部分を記号で指摘し、かつ正しい解答を、対応する語群A～Lより1つずつ選びなさい。

[語群A]

- ① 栃木 ② 白河 ③ 金融 ④ 治水 ⑤ 1613 ⑥ 1615
⑦ 1620 ⑧ 1622

[語群B]

- ① 秀忠 ② 家光 ③ 館林 ④ 忍 ⑤ 正保 ⑥ 寛文
⑦ 明和 ⑧ 寛永

[語群C]

- ① 家綱 ② 家宣 ③ 高岡 ④ 佐倉 ⑤ 若年寄
⑥ 大老 ⑦ 坂下門外 ⑧ 桜田門外

[語群D]

- ① 足利 ② 高崎 ③ 1704 ④ 1706 ⑤ 陽明学
⑥ 国学 ⑦ 専制 ⑧ 儉約

[語群E]

- ① 寛政 ② 天保 ③ 寺社 ④ 町 ⑤ 1738 ⑥ 1740
⑦ 胡麻 ⑧ 紅花

[語群 F]

- ① 家治 ② 家斉 ③ 工藤平助 ④ 高田屋嘉兵衛
⑤ 多摩川 ⑥ 武蔵野 ⑦ 1787 ⑧ 1788

[語群 G]

- ① 家重 ② 家斉 ③ 明德館 ④ 進修館 ⑤ 享保
⑥ 天保 ⑦ 渋沢栄一 ⑧ 安田善次郎

[語群 H]

- ① 福井 ② 岡崎 ③ 勘定 ④ 京都所司代 ⑤ 享保
⑥ 寛政 ⑦ 棄捐令 ⑧ 分地制限令

[語群 I]

- ① 堀田正睦 ② 井伊直弼 ③ 経済学 ④ 国学
⑤ 明倫館 ⑥ 石川島造船所 ⑦ 家定 ⑧ 慶喜

[語群 J]

- ① 1854 ② 1855 ③ 日米和親条約 ④ 琉球米国修好条約
⑤ 天保 ⑥ 文政 ⑦ 長崎会所 ⑧ 長崎医学校

[語群 K]

- ① 会津 ② 尾張 ③ 高杉晋作 ④ 蓮田市五郎
⑤ 家定 ⑥ 慶喜 ⑦ 尊王攘夷 ⑧ 公武合体

[語群 L]

- ① 阿部正弘 ② 堀田正睦 ③ 松平慶永 ④ 島津久光
⑤ 富国強兵 ⑥ 開国 ⑦ 南紀 ⑧ 田安

問2 前掲の短文A～Lの人物として語られていない人名を、次の語群からすべて選びなさい。

[語群]

- ① 神尾春央 ② 本多正純 ③ 島津斉彬 ④ 新井白石
⑤ 徳川斉昭 ⑥ 阿部正弘 ⑦ 松平信綱 ⑧ 水野忠邦
⑨ 山内豊信 ⑩ 柳沢吉保 ⑪ 松平定信 ⑫ 水野忠成
⑬ 井伊直弼 ⑭ 堀田正俊 ⑮ 田沼意次

4 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

日本の敗戦後の1945年10月、新たに成立した(ア)内閣が、GHQ(連合国軍総司令部)からの指示をうけて、(イ)を委員長とする憲法問題調査委員会を政府に設けた。これを契機として、多くの憲法構想が政党や民間から出され、たとえば社会政策学者の(ウ)は、共和制の「憲法私案要綱」を公表する一方、その人物などとともに憲法・政治学者の(エ)は、憲法研究会を組織し、国民主権の立憲君主制をとる「憲法草案要綱」を発表した。政党では、日本自由党、日本進歩党、日本社会党は国民主権を明確に規定しなかった一方、日本共産党は、天皇制廃止と国民主権をうちだしていた。また、元首相であった(オ)は、GHQから憲法改正の委嘱をうけたとして、その作業に着手し、そのことで自分^(a)の首相在任時の出来事への追及をかわそうとしたが、その後、GHQが彼との関与を否定し、彼の戦争責任を追及し始めたため、彼は結局、自殺した。

日本政府は1946年2月、憲法問題調査委員会による案をGHQに提出したが、GHQの(カ)は、その案が天皇大権の維持をはじめとして明治憲法と基本的変わらないものであったため、これを拒否し、一方で連合国内部にあったいっそうの民主化を求める動きも抑えて、前述の「憲法草案要綱」を参考にしつつ米国の主導で憲法をつくることにした。その結果として、彼は、自らの名前がついた英文の改正草案を日本政府に提示した。日本政府は当初、その受け入れを渋ったが、GHQの強い働き掛けをうけて、結局は受け入れた。この草案は、GHQの中の(キ)で次長であった(ク)などが、3原則をふまえて作成したものであった。政府は、この草案をもとに「帝国憲法改正草案要綱」を発表し、国会審議に載せ、部分的に修正させたのち、可決して、日本国憲法は同年(ケ)月、公布され、翌年5月3日、施行された。

日本国憲法は、3原則を明らかにした画期的なものであった。国民の直接選挙による国会を「国権の最高機関」とする一方、天皇は、政治的権力をもたない「日本国民統合の象徴」とした。また、第9条第1項で「国際紛争解決の手段」としての戦争を放棄し、第2項で戦力の不保持、交戦権の否認を定め、世界にも例がないものとなった。ただ、のちに首相となる(コ)の発案で第2項には「前項の

目的を達するため」との文言がもりこまれ、これによって、のちに自衛権の保有は可能であるという解釈につながった。当時、この修正が問題にされなかったのは、亡命先の中国から1946年1月に帰国した日本共産党の(サ)が国会において自衛権は保持すべきではないかと質問したことに対して、政府はいっさいの自衛権を放棄するとの答弁をしたためであった。また、家族生活における男女両性の平等を規定した第24条は、日本育ちの米国人女性(シ)の起草によるものであった。

新憲法の精神にもとづいて、さまざまな法制度の改革がはかられた。民法については1947年(ス)月、改正され、家中心の戸主制度が廃止され、男女同権の新しい家族制度が定められた。刑法については同年、改正され、明治憲法体制下で罪とされたもののいくつかが廃止された。さらに、同年、地方自治法が成立し、都道府県知事や市長村長が公選となり、(セ)年に設置されて以降、地方行政や警察などにおいて権力をふるってきた内務省が廃止された。そして、1948年には市町村に自治体警察が設置される一方、それが設置されない地域には国家地方警察が設置されたが、両者は、(ソ)年の新警察法でいずれも廃止され、都道府県警察に一本化された。

問Ⅰ 前掲の文章中の空欄(ア)～(ソ)に関する次の問いに答えなさい。

(1) 空欄(ア)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 吉田茂 ② 幣原喜重郎 ③ 東久邇宮稔彦 ④ 鈴木貫太郎

(2) 空欄(イ)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 美濃部達吉 ② 宮沢俊義 ③ 佐々木惣一 ④ 松本丞治

(3) 空欄(ウ)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 高野岩三郎 ② 大河内一男 ③ 河合栄治郎
④ 高野房太郎

(4) 空欄(エ)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 南原繁 ② 森戸辰男 ③ 室伏高信 ④ 鈴木安蔵

(5) 空欄(オ)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 広田弘毅 ② 平沼騏一郎 ③ 近衛文麿 ④ 小磯国昭

(6) 空欄(カ)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① アイゼンハワー ② リッジウェイ ③ ニミッツ
④ マッカーサー

(7) 空欄(キ)に入る部署はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 民政局 ② 参謀第2部 ③ 法務部 ④ 民間情報局

(8) 空欄(ク)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① ホイットニー ② ケーデイス ③ キヤノン
④ ウィロビー

(9) 空欄(ケ)に入る数字はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ
選びなさい。

- ① 9 ② 10 ③ 11 ④ 12

(10) 空欄(コ)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選
びなさい。

- ① 片山哲 ② 芦田均 ③ 岸信介 ④ 鳩山一郎

(11) 空欄(サ)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選
びなさい。

- ① 徳田球一 ② 志賀義雄 ③ 宮本顕治 ④ 野坂参三

(12) 空欄(シ)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選
びなさい。

- ① シロタ ② スピア ③ ボールディング ④ バイニング

(13) 空欄(ス)に入る数字はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ
選びなさい。

- ① 9 ② 10 ③ 11 ④ 12

(14) 空欄(セ)に入る数字はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ
選びなさい。

- ① 1871 ② 1872 ③ 1873 ④ 1874

(15) 空欄(ソ)に入る数字はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ
選びなさい。

- ① 1952 ② 1953 ③ 1954 ④ 1955

問2 前掲の文章中の下線部(a)～(e)に関する次の問いに答えなさい。

(1) 下線部(a)に該当しないものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 日中戦争の勃発
- ② ノモンハン事件の勃発
- ③ 日独伊三国同盟の調印
- ④ 南部仏印への進駐

(2) 下線部(b)に該当しないものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 国会を国権の最高機関とする
- ② 天皇を国家の元首とする
- ③ 戦争の放棄
- ④ 華族の政治的権力の否定

(3) 下線部(c)に該当しないものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 主権在民
- ② 平和主義
- ③ 基本的人権の尊重
- ④ 男女同権

(4) 下線部(d)の説明として正しいものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 日本社会党は、1993年にこのことを認めるにいたった。
- ② 1949年の中華人民共和国の建国がこのことを決定づけた。
- ③ これにもとづいて、警察予備隊が1950年、設立された。
- ④ これにもとづいて、海上保安庁が1947年、設置された。

(5) 下線部(e)に該当しないものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 誣告罪
- ② 大逆罪
- ③ 不敬罪
- ④ 姦通罪